

北の輝く女性活躍支援事業【北海道】

地域の実情と課題

- ・ 基幹産業が第1次産業であり、農山漁村地域には地域づくり活動に活躍している女性や女性グループも多いが、広域分散型の地域構造であることから、横のつながりやネットワーク化による相乗効果を発揮できていない。
- ・ 全国平均に比べ低い女性の就業率や役員・管理職への登用率。特に若年層において就業率が低くなっている。

事業の特徴

- ①関係団体・企業等が連携できる推進体制による情報共有や気運醸成
- ②女性の活躍に向けた総合相談体制の設置
- ③様々な分野で活躍する女性等、ロールモデルの発掘・発信
- ④ポータルサイトやフェイスブックによる女性の活躍に必要な支援情報等の発信

事業の効果

- ・ 企業等における仕事と家庭の両立支援や女性の指導的地位への登用の動きを促進
- ・ 相談体制の強化や、農林漁村地域で活躍する女性等、身近なロールモデルの「見える化」により、女性の活躍を促進。
- ・ 男女がともに働き暮らしやすい社会と女性の活躍促進による本道経済の活性化を実現。

目的・目標

北海道で活躍したいと考えるすべての女性を支援するため、そのライフステージに応じた相談体制を強化し、地域社会全体での気運の醸成や意識の改革、活躍したいと考える女性やその女性を支える人々が求める情報を集約して発信するなどして、本道地域の経済の活性化と男女平等参画社会の実現を図る。

連携団体

北の輝く女性応援会議

北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、北海道経済連合会、北海道農業協同組合中央会、北海道漁業協同組合連合会、北海道森林組合中央会、日本労働組合総連合会北海道連合会、北海道女性団体連絡協議会、北海道立女性プラザ、NPO法人北海道子育て支援ワーカーズ、㈱ワイズスタッフ、太田明子ビジネス工房(EZONA)、㈱北洋銀行、㈱北海道銀行、一般社団法人北海道信用金庫協会、厚生労働省北海道労働局、経済産業省北海道経済産業局、北海道市長会、北海道町村会、北海道

今後の課題

農山漁村が多く広域分散型の地域特性を持つ本道の産業構造や地域の実情を踏まえ、様々な形態での女性の活躍に向け地域や各分野の取組を促進していくことが必要。

事業の概要

北の輝く女性応援会議の運営

【設置目的】オール北海道で女性の活躍を応援する気運醸成、意識の改革を図る。

【開催状況(主な議題)】平成27年8月29日開催(平成27年度の道の取組について)

平成28年2月10日開催(女性活躍推進法の施行について、構成団体の取組について)

経営者・管理職向けセミナーの開催

【名称】

女性の活躍推進セミナー(H28.2.23)

【目的】

「北の輝く女性応援会議」構成団体及び傘下の団体・企業に対し女性活躍推進に向けた気運醸成・意識改革のためのセミナーを開催

【講演1】

「女性活躍の現状～第4次男女共同参画基本計画・女性活躍推進法等～」(内閣官房すべての女性が輝く社会づくり推進室/内閣府男女共同参画局 参事官 畠山貴晃氏)

【講演2】

「女性も男性もいきいきと働き、ともに活躍する活力ある北海道～北海道をダイバーCityの先駆けに～」(内閣府「少子化社会対策大綱の具体化に向けた結婚・子育て支援の重点的取組に関する検討会」座長代理 渥美由貴氏)

女性活躍推進のためのワンストップ相談窓口の設置

【名称】

北海道女性の活躍支援センター(H27.10.1開設)

【目的】

女性のライフステージに応じた様々な相談にワンストップできめ細かに対応する相談窓口を開設

【相談対応】

- ・訪問・電話、メール等による相談に対し、支援制度や専門相談窓口を紹介
- ・相談者の目的に応じた支援のプランを提供
- ・法律相談や子育て相談など専門相談日を設定



女性活躍支援ポータルサイトの構築

【名称】

北の女性★元気活躍応援サイト(H27.10.27開設)

(<http://www.l-north.jp/katsuyaku/>)

【目的】

身近に感じられるロールモデルの紹介、女性への支援などの情報を一元的に「見える化」し、本道の広域分散型の地域特性に対応

【コンテンツ】

- ・支援機関・支援施策の情報
- ・ロールモデルの紹介(北の★女性からのメッセージ)
- ・北海道女性の活躍支援センターの紹介
- ・facebookによる交流
- ・女性の活躍を応援する企業等の取組 等

